

きよさと 組合だより

JA 清里町

No.371



馬鈴しょ植付 (第6営農集団 新輪氏)

第74回通常総会開催	2
清里町農民連盟第51回定期総会開催	4
各組織等 総会報告	
清里町農地・水保全広域協定運営委員会	6
清里町シ力柵維持管理組合総会	6
大豆組合総会	6
ごぼう生産組合総会	7
和牛生産改良組合総会	7
農業フォトギャラリー	7
GPS講習会開催	8
春の園芸セール開催	8
くるるの杜で対面販売	8
第1回秋まき小麦青空教室	8
令和4年度新規就農者激励状贈呈式	9
JAきよさと農業塾9期生修了式	10
JAきよさと農業塾10期生研修会	10
理事会の経過をお知らせ致します	11
組合員状況	11
人事異動発令	11
新規採用職員をご紹介します	12
清里町農業後継者育成基金について	13
篤志による寄贈	13
退職にあたって	14
JAグループ通信	17
関係機関職員紹介	18

もくじ

2022年

5

令和4年

令和4年

豊穰の出来秋を祈る



4月5日、第74回通常総会が午前9時に白戸参事の開会宣言に続き、出席者全員のJA綱領朗唱にて開会となりました。

石井組合長から冒頭、清里町および清里町議会に対して、産地生産基盤パワーアップ事業によるコンバイン9台の導入および本年3月末に完了した麦作乾燥調製施設の増設工事に関し、多大なるお力添えを頂いたこと、その上組合員負担軽減のために一方ならぬご支援を頂いたことに対するお礼の言葉がありました。

また、その後の挨拶では、「令和3年度は1年を通じて偏った天候が続き、6月から8月上旬にかけては記録的な少雨に見舞われ、その上半年より気温が高めに推移したことにより極端な干ばつの影響を受け、各作物とも相当なダメージを受け減収は避けられないと出来秋を心配していたが、小麦については開花期の天候が安定していたこと、茎数が確保されていたことなどにより、良好な結果となった。その後8月中旬に纏まった降雨があり、馬鈴しょ・てん菜においては回復の兆しが見えてき

ていたが、9月中旬に広範囲にわたる降雪があり、農作物被害面積で約740ha、施設の被害は29棟に達し、甚大な被害となった。その後も秋の長雨により収穫作業は苦勞の多い状況となったが、馬鈴しょ・てん菜についてはライマン価・糖分は低かったものの、収量的には平年並みまでに回復し安堵した。その他の作物では、特に小豆は収量減と品質低下などで苦勞した年となった。畜産関係はコロナ禍の影響を受け、飲用向けの消費低迷による乳製品の在庫が積み上がり、プール乳価および個体販売が値下げ基調で推移しているものの、生産基盤が安定した中で堅実な成果を上げている。

令和3年度の農畜産物販売代金としては74億1千万円、経営安定対策などを含めて農業収入は前年対比103.5%の119億8千万円、農業支出は前年対比100.7%の88億5千万円、農業所得では前年対比112.3%の31億3千万円とまずまずの結果となった。

生産資材の値上がりが続く中、コスト低減に努められたこと、小麦が高反収であったこと、そして悪条件の気象の中でも馬鈴しょ・てん菜など一定の成果を残すことが出来たのは、組合員各位の日



議長団
(左) 第9営農集団 岡崎英之氏
(右) 第5営農集団 大町敏隆氏

頃の営農努力の成果と考えている。農協事業においても、期中奨励後の税引き前当期利益として2億6千万円を計上できたことは、組合員各位およびご家族皆様の系統結集の賜物と、改めて感謝とお礼を申し上げる。

固定資産の関係では、コンバイン9台の更新および麦作乾燥調製施設の増設を進めてきた。またコンバイン格納庫1棟を解体し第2駐車場に新設するなど、固定資産取得金額の多い年とはなったが、今後の清里町農業に寄与するものと考えているので、ご理解をお願いしたい。

令和4年度の計画では、2年以上に亘り続いているコロナ禍で世界的に経済活動の低迷が続く、また突然のロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まり、より一層世界的混迷が深くなってきている。国

内でも円安傾向が進み、また中国を始め各国とも自国優先の動きが目立つようになり、原油並びに鉄鋼・木材そして半導体等、広い分野での値上がり・品不足が続いている。農業への影響も大きく、肥料・飼料・燃油関係を始め、幅広い分野での生産資材の高騰が続く、また輸入農産物においても国際価格の値上がりで輸入量確保が難しくなり、不安な状態が続いている。消費者に不安を与えない食糧安保の為にこれを機に国内産農産物を優先し農業の振興・底上げを図る対策が必要であり、生産者自ら行なっている消費拡大運動にも大きな意味があると思っている。消費拡大の関係については今後ともご理解とご協力のほど宜しくお願いしたい。

貿易協定では、本年発効されたRCEPと中国・韓国が参加に意欲を示すTPPの動向が気になる所であり、また国内農業政策でもコロナ禍が続く、農畜産物の在庫が積み上がり、特に三白と言われる「米」、「牛乳」、「砂糖」については厳しい状況となっている。「米」、「牛乳」については生産抑制に舵を切り、「砂糖」についても産糖量の減産を農水省から強く言われてきているが、てん菜は清里では輪作体系の主軸となる作物

であるので到底納得できるものではない。来年は経営所得安定対策の数量払い単価の改定の年となり、現在国会で法制化に向け審議されている「みどりの食料システム戦略」についてもどのような内容になるか心配な所である。過剰在庫対策を含め、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。このような状況を踏まえ、「次世代への継承・発展を目指し持続可能な清里町農業に向けた対応・対策の継続」が必要と考えている。

土壌病害虫発生による作物への影響も顕著に見られ、農作業の効率化にも影響が心配される中、基本となる輪作体系の確立を目指したPCN対策、縮萎縮病などの抑制に努めていかなくてはならない。また昨年の清泉種子団地でのGR発生などで種芋確保も厳しくなっており、人手不足の影響で、今後の規模拡大やそれに伴う青果類作付面積の減少も心配している。人手不足緩和に向けて各関係機関、近隣の情報も参考に動いているが、まだ時間を要する所である。

一方で麦作事業では乾燥調製施設の増強により操業期間の短縮が可能となる見込みであり、コンバイン9台の大型化と麦作集団の再編による効率の良い刈り取りを進めて行けると考えている。課題な

どが多い所ではあるが解消緩和に向けて、組合員およびご家族皆様の今後とも変わらぬご協力をお願いしたい。

今年から始まる「会計監査人による監査」、「収益認識会計」などの対応もあり、農協としては忙しい年となり、各生産資材のコスト高による経営圧迫も考えられ、厳しい年になると予想している。組合員各位においては、今一度系統に結集し、その力で難局を乗り越えていく事が重要と考えている。今後ともご理解・ご協力をお願いしたい。

本年度が豊穡の出来秋となることと、農作業事故などが無くご健勝でご活躍される事をご祈念申し上げます。」と挨拶がありました。

引き続き櫛引町長、田中町議会議長、JA北海道信連北見支所村本支所長よりご挨拶をいただき議事に入りました。

議長は、第5営農集団大町敏隆氏、第9営農集団岡崎英之氏が選任され、議案審議に入りました。

質疑応答につきましては、令和4年度事業計画について2点程ご意見を頂きました。

議長のスムーズな進行により全議案が可決され、大町氏の退任挨拶の後、三上専務の閉会の挨拶で11時57分に無事終了しました。

持続可能な家族農業や実効性あ

第51回清里町農民連盟定期総会

農連

清里町農民連盟 第51回定期総会開催



4月8日、第51回清里町農民連盟定期総会が、午後1時30分より、清里町農協2階会議室に於いて開催されました。昨年度と同様に新型コロナウイルス対策のため、参加人数を減らすなど基本的な感染防止対策をとりながらの開催となりました。総会は、例年より少ない代議員総数40名中、37名（委任状1名）が出席し、大槻仁志農畜産対策専門副委員長の開会宣言によって始まりまし

た。来賓祝辞として、清里町 櫛引町長、清里町農協 石井組合長、北見地区農民連盟 石井副委員長よりご挨拶頂きました。また、清里町農業委員会会長代理岡本勝弘氏、清里町農協女性部部長三上由香里氏、清里町農協青

年部部长佐々木勇太氏、北見地区農民連盟書記岡田恭也氏のご出席を頂きました。武部新農林水産副大臣、徳永エリ参議院議員、ホクレン中斜里製糖工場本弘之工場長からのメッセージを事務局より紹介しました。

続いて、定期総会スローガンを久保中央組織対策副委員長により確認の後、議事に入りました。

第1号議案「令和3年度活動経過報告」の、町内対策では、鳥獣被害対策や種子馬鈴しょの復活ルールに向けた動き、国有林対策やGp対策、馬鈴しょ・てん菜対策、広報活動等、また基本農政、酪農畜産・畑作・税対策などの1年間の運動経過を各専門委員長及び局長より報告し、原案どおり承認されました。続いて、第2号議案「令和3年度会計収支決算報告」坂野和弘書記長より説明。

引き続き垂石英克監事より「決算監査報告」があり、原案どおり承認されました。

第3号議案「令和4年度運動方針（案）」では、町内対策を充実させ、更に北見地区・道農連を通じた国際貿易交渉対策、真の農政改革の実現、生産現場の視点に立った農政運動を行っていくことを各専門委員長及び局長より提案。1 集団佐藤秀弘さんより国有林整

備事業について維持管理方法及び経費の負担について質問がありました。書記長より、今後網走南部森林管理署と清里町、JA、農民連盟の4者で維持管理方法などの協定書を結ぶ方向性となっている。まだ確定していることはないが盟友からの要望を伝えるとともにしっかりと維持できるよう相談していきたいと説明がありました。また、肥料など資材が急騰しているなか、今年は交付金の改定年度にあたるが、どのように反映させていくのかとの質問に、従来から農水省は算定要素の計算方法に基づき費用と販売価格の差を埋めていくと説明しているが、前回の改定時に日米貿易協定対策という算定要素とは違う項目を入れることができているので、そのような経過も含めながら今後北見地区・道農連で運動を組み立てていくことになる

と説明がありました。

第4号議案「令和4年度収支予算（案）」及び、「賦課金徴収（案）」では、5集団島田耕一さんから、会議費の内容について質問があり、書記長より総会経費、執行委員会経費が1番多くかかっており、その他農協会議室使用料などが含まれると説明。併せて、コロナの影響で繰越金が多くなっている中、賦課金単価を引き下げた

ことについては良案だとの意見をいただきました。

その後「生産現場に寄り添った農業・農村政策の確立を求める特別決議（案）」を桑島副委員長より提案され、拍手により承認されました。

新井議長の退任挨拶の後、閉会に当たり園木副委員長より挨拶があり、新執行委員を紹介したのち、午後3時50分、大槻仁志農畜産対策専門副委員長の閉会宣言をもって終了しました。

【新執行部体制】

4月11日第1回執行委員会を開催し、新たに選任された4名と再任された16名の執行委員により互選協議を行い、新執行体制を決定しました。

任期2年の間、各執行委員は集団の代表として、各盟友の声を広く集め、代弁し、いろいろな情報を提供していきながら、町内対策を充実させ、地区・道農連へと運動を広げ、地域の発展と、農業・農村の為に、農民運動を力強く推進して行きます。

○役員

委員長 坂野和弘氏（新）
副委員長 桑島義幸氏
書記長 岩本将嘉氏（新）
久保宗央氏（新）
監事 垂石英克氏
谷澤昌浩氏（新）

○執行委員

1集団 澤田篤史氏
目黒寛樹氏（新）
2集団 久保宗央氏
佐藤 学氏（新）
3集団 坂野和弘氏
岩本将嘉氏
4集団 林 雄一氏
佐々木一則氏
5集団 市橋淳史氏（新）
吉田哲也氏
6集団 大槻仁志氏
桑島義幸氏
7集団 岩瀬豊秀氏
羽田野正人氏
8集団 鈴木祥弘氏（新）
谷澤昌浩氏
9集団 植田孝充氏
垂石英克氏
10集団 石井勝之氏
石井卓也氏

○各専門委員会・部会

・組織対策専門委員会
委員長 桑島義幸氏

副委員長 吉田哲也氏

委員 目黒寛樹氏
林 雄一氏・羽田野正人氏
岩瀬豊秀氏・鈴木祥弘氏
垂石英克氏・石井勝之氏

・農畜産対策専門委員会

委員長 岩本将嘉氏
副委員長 大槻仁志氏
委員 澤田篤史氏
佐藤 学氏・佐々木一則氏
市橋淳史氏・谷澤昌浩氏
植田孝充氏・石井卓也氏

・税対策専門委員会

委員長 佐々木一則氏
副委員長 岩瀬豊秀氏
委員 佐藤 学氏
林 雄一氏・市橋淳史氏
羽田野正人氏・石井勝之氏
坂野和弘氏・桑島義幸氏

・広報担当部会

部長 田邊朋之氏
部員 石井卓也氏
目黒寛樹氏・鈴木祥弘氏

・酪農畜産担当部会

部長 澤田篤史氏
副部长 植田孝充氏

★清里町農地・水保全

広域協定運営委員会総会

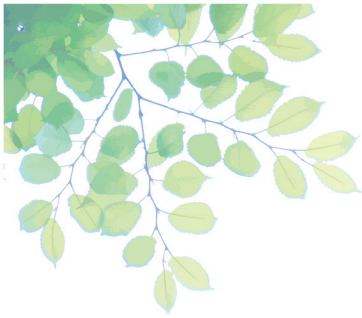
4月8日、第7回清里町農地・水保全広域協定運営委員会定期総会が開催されました。

議案第1号『令和3年度事業実績及び収支決算報告並びに監査報告について』、議案第2号『令和4年度事業計画及び収支予算について』、議案第3号『令和4年度運営委員会当、作業等借上げ料金表について』、議案第4号『清里町農地・水保全広域協定運営委員会参加同意書の承認について』を上程、また議案第5号『その他』については交付金について協議されました。

全ての議案は原案どおり承認され、総会は終了致しました。

★令和4年度役員

・会長 三上 博由氏
・副会長 塚田 勉氏



★清里町シカ柵維持管理組合総会

2月17日、第21回清里町シカ柵維持管理組合定期総会が開催されました。

議案審議では、議案第1号『令和3年度 事業報告並びに収支決算報告及び会計監査報告について』、議案第2号『令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』、議案第3号『令和4年度組合年会費及び賦課金の承認について』が提案されました。質疑、意見等は特になく議案は原案どおり承認され総会は終了致しました。

★令和4年度役員

組合長 伊藤 隆広氏
副組合長 金森 裕輔氏



★大豆組合総会

3月31日、第6回大豆組合総会がJA清里町2階会議室で開催されました。

議案第1号『令和3年度事業計画並びに収支決算について』、議案第2号『令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』を上程、また議案第3号『その他』については、新たに組合に加入された方が多かった為、コンバインの運行体制等が説明されました。

全議案について、賛成多数により原案どおり承認され、総会は終了致しました。

★令和4年度役員

組合長 吉田 勝典氏
副組合長 高見 則之氏



★ごぼう生産組合総会

4月4日、第33回清里町ごぼう生産組合定期総会が、JA清里町2階会議室にて開催されました。

田邊組合長が議長となり、議案審議に入りました。議案第1号「令和3年度事業報告及び収支決算報告について」、議案第2号「令和4年度事業計画案並びに収支予算案について」を上程、また議案第3号「その他」においては、小清水蔬菜部会との取引について、段ボールの企画変更についての説明及び学習会の案についての提案がされました。

質疑応答の後、全ての議案が原案どおり承認され総会は終了致しました。

★令和4年度役員

組合長（農） 田邊生産組合 田邊朋之氏
副組合長 塚田 勉氏



★和牛生産改良組合総会

4月14日、JA清里町2階会議室にて第10回和牛生産改良組合総会が開催されました。

議案第1号「令和3年度事業報告並びに収支決算について」、議案第2号「規約変更について」、議案第3号「令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について」、議案第4号「令和4年度会費の徴収方法について」を上程、また議案第5号「その他」においては、町内から一頭、北海道選抜会に出品が決まった事が報告されました。質疑応答の後、全ての議案が原案通り承認され総会は終了しました。

★令和4年度役員

組合長 橋本 秀一氏
副組合長 佐野 吉延氏



～農業フォトギャラリー～



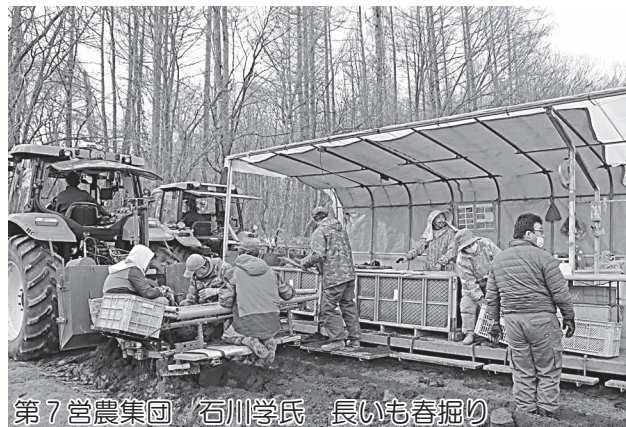
第5営農集団 菅原健一氏 玉ねぎ移植



原種・原々種引渡し



第8営農集団 志賀盛太郎氏 長いも春掘り



第7営農集団 石川学氏 長いも春掘り



GPS講習会開催

3月30日に㈱トプコン、4月7日に㈱ニコン・トリニブルのご担当者をお招きし、GPS講習会が開催されました。

今回の講習会では、座学のみでの講習となりましたが、実際にハンドルと操作画面のデモ機を使用し説明していただきました。

講習後も熱心に講師の方々へ質問をされる参加者が多く見られ、年々、GPSに対する知識や技術が根付いてきたように感じられました。

また、後継者の参加も多く見られ、今後の有効活用に期待できる講習会となりました。



春の園芸セール開催

多彩な資材を皆さまへ

4月20日～21日の2日間にあつて、JA清里町資材センターにて「春の園芸セール」が開催されました。

今回のセールでは、例年通りの肥料や農薬などに加えて、様々な園芸資材や電動工具などを展開して行なわれ、多くのお客様にご来店いただきました。

資材センターでのセールは年2回の開催を予定しており、次回は秋に行なわれる予定です。

今年度も地域に根差した店舗づくりに努めて参りますので、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



2年ぶり

くるるの杜での対面販売

3月26日から27日にかけて、北広島市のホクレンくるるの杜にて「JA清里町フェア」が開催されました。開催に際し、当農協職員と長芋生産組合市橋淳史組合長夫妻が現地に赴き、特産品の「清里切麦」と、長芋の対面販売を行いました。

コロナ禍であることを考慮し、試食販売はできなかったものの、立ち寄って頂いたお客様と直接お話をして自慢の特産品の魅力を伝えることができました。また、中には何度も食べているというリピーターの声も聞くことができました。

くるるの杜では当農協だけでなく、道内農協の様々な特産品も販売しており、それらをふんだんに使用したメニューをビュッフェスタイルで楽しめる農村レストランも併設しています。くるるの杜にお立ち寄りの際は、是非農村レストランにも足を運んでみて下さい。



第1回秋まき小麦青空教室

123戸が出席

4月12日および20日に令和4年度第1回秋まき小麦青空教室が各集団代表ほ場で開催されました。

普及センター職員を講師に招き、春期の秋まき小麦の管理について説明していただきました。今年の茎数については平年を上回る数字となったことから、追肥についてはほ場の茎数に応じて、実施時期・追肥量を検討し行うことが呼びかけられ、その他、「病害虫について」「防除について」の説明がされました。

質疑では、萎縮病の対策や防除のタイミングについて等の質問がありました。



令和4年度 新規就農者激励状贈呈式

～次世代の若き後継者へエールを～

新規就農者激励状贈呈式



第6営農集団
(野崎武志さん次男)
のさき たつや
野崎 竜矢さん



激励状授与

4月8日、新規就農者に対し、JAグループ北海道の系統4連と全国共済連北海道本部より激励状が授与されました。

石井組合長より「新規就農者として当JAとしては喜びに堪えない。農業者は主人公であり生活設計も含めJAとしての役割を果たしながらサポートしていきたい。父、武志さんにおいては、最先端技術を取り入れチャレンジ精神を持ちながら良い経営をされている。見習い、学びながら農業に活かしてもらい、また地域には若い農業者も多いので、情報交換やり



答辞

フレッシュも含めた交流を図っていただきたい。本年初めての農作業となるので、怪我なく努めていただき、今後のご活躍に期待したい」と激励の言葉がありました。

新規就農者の野崎竜矢さんから答辞では激励状、記念品贈呈に対する感謝の言葉と、「今後も知識と技術を研鑽していく」との誓いの言葉を述べられました。

★新規就農者

第6営農集団 野崎 竜矢さん



JAきよさと農業塾9期生 修了式

～農業塾9期生 8名が卒業～

3月30日、緑清荘の会議室にて、JAきよさと農業塾9期生の修了式が執り行われました。

冒頭、JA清里町石井組合長より「努力の成果が表れるのが農業という仕事。農業に於いては変化



の時期を迎えており、SDGsの中で農業の果たす役割、さらには「みどりの食料システム戦略」など有機農業を含めた環境整備等、試行錯誤しながらの対応が必要となる。様々な事に対して、若い柔軟性を持った考えで今後のJAの屋台骨を支えていっていただくことを期待したい」と激励の言葉が贈られました。

また、来賓の網走農業改良普及センター清里支所池田支所長より、2年間の学習に対しての敬意と、激励の言葉が贈られました。

9期生8名に修了証書と営農日誌が贈呈され、最後に9期生を代表して中平開斗さんからの答辞では、関係機関と農協に対してのお礼と、これからの決意を述べられました。

★JAきよさと農業塾9期生

第1営農集団	中平 開斗さん
第2営農集団	佐藤 響さん
第8営農集団	伊藤 陸さん
第8営農集団	佐々木 隆成さん
第8営農集団	塚田 郁哉さん
第9営農集団	垂石 佳也さん
第10営農集団	浅野 翔さん
第10営農集団	佐藤 拓也さん

JAきよさと農業塾10期生研修会 今一度、農協への 理解深める

3月24日、JAきよさと農業塾10期生の研修会を、白戸参事が講師となり開催されました。

JAの歴史や仕組みを始めに、JAの存在意義について、また昨今の農業資材情勢やJA清里町の事業などが説明されました。

塾生はじっくりと耳を傾け、JAの理念や存在意義に対する理解を深めていただきました。

白戸参事より「相互扶助の精神が協同組合の前提にあり、お互いの心と力を合わせ目的に向かい助け合っていくことが大切」と今後に期待を込めた言葉が贈られ、研修会は修了しました。



理事会の経過を お知らせ致します



第3回

4月4日

付議事項

- 議案第1号 再建組合員の承認について
- 議案第2号 清里町農業振興資金運用委員会委員の推薦について
- 議案第3号 第74回通常総会の対応について
- 議案第4号 役員賠償責任保険契約の締結について
- 議案第5号 令和4年度コンプライアンスプログラムの制定について
- 議案第6号 職制規程の一部改正について
- 議案第7号 自動車運行管理規程の改正について

第4回

4月8日

付議事項

- 議案第1号 理事に対する供給限度額並びに貸越極度額の決定について
- 議案第2号 固定資産の取得について
- 議案第3号 第74回通常総会の集約について
- 議案第4号 理事報酬の配分について
- 議案第5号 令和5年度要員計画について
- 議案第6号 行政庁に提出する業務報告書について
- 議案第7号 当組合における取引のリスク評価書及びリスク総括表

報告事項

1. 第5回オホーツク農協畑作青果対策委員会の内容報告について
2. 令和3年産経営所得安定対策交付金の決定内容について
3. 令和4年度清里町農業振興資金貸付事業（第1回申込）について
4. 令和4年度固定資産取得に係る価格交渉結果について
5. 令和3年度清里町農業協同組合経営監査報告について
6. 内部監査の実施結果について

の改正について

報告事項

1. 令和4年度組合員勘定収支計画集計について
2. 令和4年度営農計画作付面積集計について
3. 持続的畑作生産体系確立緊急対策事業における申請状況について
4. 令和3年産規格外小麦精算について
5. 令和3年産民間流通小麦現物取引麦の2次概算金の支払いについて
6. ジャガイモシロシストセンチュウの作出圃場の調査について
7. 安全衛生委員会要領の改正について

組合員状況

〈令和4年5月1日現在〉

■組合員数		〈前回報告より〉
正組合員（個人）	213名	（変動なし）
〃（法人）	17法人	（2法人増）
准組合員（個人）	1,322名	（7名増）
〃（法人）	0法人	（変動なし）
〃（団体）	18団体	（変動なし）
		（合計）1,570

人事異動発令

令和4年4月1日付をもって
人事異動の発令がありました。

（ ）は異動前の所属部門

○佐藤 清孝

業務部次長兼業務課長

○森谷 尚弘

（業務部業務課長）

○田中 和浩

（営農部製造課主幹）

○戸出 浩輔

（営農部製造課調査役）

○田中 和浩

（営農部製造課主幹）

○仲野 明子

（営農部製造課主幹）

○田中 敏之

（金融部金融課主幹）

○田中 敏之

（金融部金融課主幹）

○田中 敏之

（業務部燃料自動車課主査）

○吉田 逸人

（業務部燃料自動車課主査）

○吉田 逸人

（金融部金融課主査）

○丹野 翔太

（管理部企画課主査兼管理課）

○丹野 翔太

（営農部経営課主査）

○丹野 翔太

（金融部共済課主査）

○梅田 仁

業務部燃料自動車課主査

(業務部燃料自動車課)

○橋本 直紀

業務部燃料自動車課【給油所】

(業務部燃料自動車課)

○宮崎 涼匡

管理部企画審査課兼管理課

(業務部業務課)

○松館 正太

金融部共済課

(金融部金融課兼共済課)

○城村 千恵子

管理部管理課準職員

(金融部金融課準職員)

○日下 稜那

管理部管理課

(管理部管理課準職員)

○大藤 春果

金融部金融課

(金融部金融課準職員)

■令和4年4月1日付で採用がありました。

○横山 晃也

営農部農畜産課

○鈴木 元太

業務部業務課

○細川 佑輔

業務部業務課

○宮脇 祐斗

営農部製造課

○小山 乃愛

管理部管理課

○津田 空

金融部金融課

○野村 一貴

営農部農畜産課準職員



★新規採用職員を
ご紹介します



○名前 横山 晃也

○生年月日 平成11年12月14日

○出身地(市町村名) 東京都

○出身校(最終学歴) 東京農業大学

○趣味・特技 筋トレ・温泉

○配属先 営農部農畜産課

○抱負 社会人1年目で右も左も分らない状態ですが、色々なことを吸収し、精一杯頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



○名前 鈴木 元太

○生年月日 平成11年6月10日

○出身地(市町村名) 東京都

○出身校(最終学歴) 東京農業大学

○趣味・特技 釣り・料理

○配属先 業務部業務課

○抱負 社会人になってから日も浅く、至らないことも多いと思いますが、1日でも早く仕事を覚え、皆様のお力になれる職員になりたいと思います。

よろしくお願い致します。



○名前 細川 佑輔

○生年月日 平成9年9月1日

○出身地(市町村名) 北見市
○出身校(最終学歴) 北見高等技術専門学院
○趣味・特技 音楽鑑賞
○配属先 業務部業務課
○抱負 1日でも早く仕事を覚え、地域に貢献できるよう頑張ります。



○名前 宮脇 祐斗

○生年月日 平成13年7月17日

○出身地(市町村名) 津別町

○出身校(最終学歴) 北見高等技術専門学院

○趣味・特技 YouTubeを見ること

○配属先 営農部製造課

○抱負 経験も浅く至らぬ点ばかりですが、これから社会人として、JA職員として、成長して参ります。

どうぞよろしくお願い致します。



○名前 小山 乃愛

○生年月日 平成15年7月12日

○出身地(市町村名) 小清水町

○出身校(最終学歴) 清里高校

○趣味・特技 野球観戦・書道

○配属先 管理部管理課

○抱負 JA職員として、1日でも早く力になれるよう頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



○名前 津田 空

○生年月日 平成15年5月9日

○出身地(市町村名) 小清水町

○出身校(最終学歴) 網走南ヶ丘高校

丘高校

○趣味・特技 韓国語を話せること
○配属先 金融部金融課
○抱負 社会人1年目で右も左もわからない状態ですが、わからないことをそのままにしないで、上司や先輩方に教えてもらいながら成長していきたいと思っています。
どうぞよろしくお願い致します。



○名前 野村 一貴

○生年月日 平成10年1月15日

○出身地(市町村名) 斜里町

○出身校(最終学歴) 斜里高校

○趣味・特技 映画鑑賞・野球

○配属先 営農部農畜産課

○抱負 まだまだ農業について知らない事だらけですが、たくさん勉強して1日でも早く仕事を覚え、組合員さんや清里町の農業に貢献していけたらと思っています。
どうぞよろしくお願い致します。

清里町農業後継者 育成基金について

後継者育成基金とは、昭和52年に農協役員の方が若い世代へ役立てて欲しいと篤志を出していただいたことが発端となり、以降も退職される役員の方や離農される組合員等のご厚意により積み立てられた基金となります。

この基金の運用は清里町農業後継者育成基金運用委員会(委員長として専務、委員は第一理事、代表監事、営農部長、青年部・女性部の正・副部長各3名の計10名で構成)を年1回開催し、基金の使途について協議の場を設けております。使途については、主に青年部・女性部の研修に加え、農業塾に対する研修に使わせていただいている大切な基金となっております。

今回と、これまでに篤志をいただいた方々に感謝を申し上げますとともに、これからも意向に沿った有意義な運用を行って参りたいと考えております。



篤志による寄贈 ありがとうございました



この度、後継者育成基金運用委員会へ篤志により寄贈がありました。

- 森 修氏
- 桑名 達也氏
- 山賀 仁志氏
- 野村 裕二氏
- 林 繁樹氏

「農業後継者の育成の為に役立ててください」というお心に添えるよう運用基準の範囲内で時代を担う農業後継者(青年部・女性部・農業塾生)への研修や専門教育等に有効に活用させていただきます。



退職にあたって

定年退職

営農部製造課長 山賀 仁志



陽春の候、組合員の皆様におかれましては春耕期を迎え、時き付け作業の準備等お忙しい毎日のことと推察申し上げます。

さて、私事ですが、この度3月31日付を持ちまして退職させていただきます。

昭和55年に入組し、農畜産課に始まり42年間皆様に支えられながら大過なく定年を迎えることが出来ました。これも皆様の叱咤激励のお蔭と感謝申し上げます。

この間、30年余りを業務部門勤務で過ごさせて頂きました。組合員並びに役員のご指導を受け、また諸先輩や同僚などにも恵まれたの日を迎えることが出来ました。誠にありがとうございました。

特に思い出に残る事は、麦作センター業務ではコンバインの刈取

り能力が工場の受入能力を上回るため受入終了時間が夜遅かったことを懐かしく思い出されます。そのため国の補助事業活用による受入施設、貯蔵施設の建設増強に携わらせていただきました。

製造課では、デカンター廃液の臭気対策の目的で深層曝気処理施設の増設や、シストセンチュウまん延防止対策としてトラックの洗車場の設置、遊離土砂を加温処理する施設の建設などを担当させて頂きました。

農業情勢では、肥料の高騰や生産資材並びに燃油の値上がりによる生産コストの上昇が続いております。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く状況下で、各国は自国優先の食糧確保の考え方による食料輸出を規制する動きが出るなど輸入に依存する我が国の危険性が露呈しました。国産農畜産物の安定供給の必要性を踏まえ、JA清里町は、安全・安心で良品質な農畜産物の供給産地として担っていることを誇りに持ち、持続可能な清里町農業の確立に向け、JAが一丸となり邁進されますことを願います。

最後になりますが、組合員並びに役員皆様の末永いご健勝とご多幸、併せてJA清里町の益々のご発展をご祈念申し上げ、定年退

職の挨拶とさせて頂きたいと思います。長きに亘り、大変お世話になりました。ありがとうございました。

定年退職

営農部製造課主幹 野村 裕二



日々春の訪れを感じられる季節となり、組合員皆様におかれましては、播きつけ作業などで大変お忙しいことと推察致します。

さて、私事ではございますが、この度3月31日をもって退職させていただきます。

平成4年に連合会に入会し、平成6年7月からJA清里町の入組を含み、通算30年間に亘り、でん粉製造課一筋で勤務させて頂きました。

この間、組合員ならびにご家族様、また役職員の皆様には多大なるご指導を賜り、心から感謝申し上げます。

でん粉製造課に勤務して30年間にさまざまなトラブルがありました

が、中でも思い出に残るトラブルは数年前のブラックアウトです。

ビンの中の原料は腐敗が進み、高さが半分位まで下がり、工場の中も乳タンクから抜いた乳が乾燥、摩砕、大扉から出て外までも乳が沈殿して白くなりこれを掃除するのに工員、職員全員で丸一日かけて掃除を行い、いざ摩砕を開始すると原料貯蔵タンクの原料も腐敗しており原料引出しコンベアが腐敗した原料のせいで回らなくなり、手で原料をかき出しながらコンベアを回したことが30年間製造課に勤務して一番の思い出に残る出来事です。

現在、農業を取り巻く情勢は新型コロナウイルスの世界的な拡大で収束が見えない中、各国は自国最優先の食糧確保の考え方により食糧輸出を規制する動きが出るなど、輸入に依存する危険性が露呈しました。国民にも食に対する意思の変化が生まれたのではないのでしょうか。コロナ禍により明らかになった国産農畜産物の安定供給の必要性を踏まえ、清里農協も北海道農業を支える地域であり、安全、安心な清里産農産物をより多くの消費者に届けていただくことを期待しています。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の早い収束と組合

員ならびにご家族の皆様、役職員
の皆様の末永いご健勝とご多幸、
JA清里町の益々のご発展をご記
念申し上げ、退職の挨拶とさせて
いただきます。
大変お世話になり、ありがとうございました。
ございました。

定年退職

営農部製造課 林 繁樹



春暖の候、日一日と春の訪れを
感じさせる今日この頃ですが、組
合員とご家族の皆様におかれまし
ては春耕期を迎え、お忙しい毎日
と推察致します。

さて、私事、昭和55年に入組以
来、本年3月末を持ちまして退職
させて頂きました。

42年間JA清里町に勤務させて
頂いたのも、組合員各位とご家族
様また、役職員各位の並々ならぬ
ご指導とご厚情のおかげと心より
感謝とお礼を申し上げます。

顧みますと、当時の本部事務所

は現在とは違い、職員の業務フロ
アは二階でしたし、一階は大会
議室の一角にロッカーが一行に並
べて有り薄暗く、気持ちまでその
状況に引き込まれた事を思い起こ
します。

それから月日が経つのは早いも
ので、営農部で15年、業務部で21
年、店舗部（当時）で2年、札弦
支所（当時）で4年、合わせて42
年もの月日があっという間に過ぎ
ました。

在職中、印象に残っているのは、
入組2年目からの4年間と退職ま
での8年間、原料馬鈴しょの受入
を担当させて頂いたことです。

最初の4年間は、でん粉工場が
農工連組織で運営されていた関係
上、受入業務のみ農協で行ってお
りました。

電卓・そろばんで割当をし、搬
入伝票は一枚一枚手書きでしたの
で、職員2名、パート2名の4名
もの人員を費やしておりました。

割当伝票は、各集団の班長の下
に配布しており、手書きで行って
いた時代でしたので、配布時間が
遅れ激怒された事も遠い思い出と
なりました。

残りの8年間は、でん粉工場も
農協へと移管され、OA機器の導
入とともにシステム化が進み、受
入業務も職員1名で行える程に成

りました。

アナログ時代からデジタル時代
に移り変わり、その中に身を置き、
時の流れの速さに戸惑いを隠せま
せん。

少子高齢化が叫ばれてから今日、
我が町の農業・農協の環境もその
影響を少なからず受け、効率的な
業務処理を行える様になった反面、
組合員各位や役職員各位の気薄感
が気掛かりです。

しかしながら、組合員並びに役
職員が一丸となり結集し、この難
局を乗り越えられると確信してお
ります。

私は、農協OB各位の様な業績
は、何一つ有りませんが、42年間
現場で組合員各位と接し、良くも
悪くも皆様の印象に残った職員の
一人と思います。

最後になりますが、実り多い年
になります事と組合員各位とご家
族・役職員各位のご健勝とご多幸
をお祈りし、退職の挨拶とさせて
頂きます。

長きに亘り、大変お世話になり
有難うございました。



営農部農畜産課 二俣 彩香



陽春の候、組合員の皆様におか
れましては、益々ご健勝のことと
お慶び申し上げます。

私事ですが、この度3月31日を
もちまして清里町農業協同組合を
退職致しました。

平成25年に入組し、業務部業務
課に6年間、営農部農畜産課に3
年間勤務させて頂きました。

この9年間、組合員の皆様方、
役職員の皆様方には多々ご迷惑を
おかけすることもあったと思いま
すが、業務課窓口、畜産指導等、
様々な機会を通してご指導、ご鞭
撻をいただきましたことを心より
お礼申し上げます。

未熟な私が本日まで勤めてこら
れましたのも、皆様方のあたたか
いご支援とご厚情の賜と深く感謝
致します。

最後になりますが、清里町農業
協同組合の益々のご発展と、組合
員皆様、役職員皆様のご健勝とご
多幸をご祈念申し上げ、退職の挨

拶とさせていただきます。
9年間大変お世話になりました。

管理部管理課 岸里 未来



陽春の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私事ですが、この度3月31日をもちまして清里町農業協同組合を退職いたしました。

平成27年に入組し、金融部金融課に6年、管理部管理課に1年、勤務させていただきました。

組合員の皆様には、ご迷惑をおかけすることもあったと思いますが、様々な機会を通じてご指導ご鞭撻を頂戴いたしましたこと深く感謝申し上げます。

在職中は至らぬ点も多々あったかと思いますが、本日まで勤めてこられましたのも、皆様方の温かいご支援とご厚情の賜と心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、清里町農

業協同組合の益々のご発展と、組合員の皆様、役職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。
7年間お世話になりました。

管理部管理課 古屋 翔



陽春の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが、この度、一身上の都合により3月31日を持ちまして清里町農業協同組合を退職致しました。

平成30年に入組し、管理部管理課に4年間勤務させていただきました。業務を通して数多くの方から様々なことを学ばせていただきました。清里町農業協同組合で培った経験を、今後も活かしていきたいと思っております。

組合員の皆様方、役職員の皆様方には多々ご迷惑をおかけする事もあったと思いますが、様々な機

会を通してご指導、ご鞭撻を頂戴致しましたことを心より感謝申し上げます。

何かと至らぬ私が本日まで勤めてこられましたのも、皆様方のあたたかいご支援とご厚情の賜と深く感謝致します。

最後になりますが、清里町農業協同組合の益々のご発展と、組合員皆様方、役職員皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。
4年間、大変お世話になりました。



定年退職者花束贈呈



退職者花束贈呈





←各団体の詳しい取り組み
内容については、WEB
サイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆ご当地JAカレー1グランプリを開催!!



JAグループ北海道が協賛する「あぐり王国北海道NEXT」では、**米の消費拡大**を目指し、全道各地のご当地JAカレーを集めたグランプリを初開催しました。

公募した結果、**12JA**の参加となり、発表順を決める緊張のくじ引き、その土地自慢の農畜産物を活用したカレーのPR、JA職員の個性豊かな全力プレゼン、悩ましい実食審査など、見どころが満載です。

ナンバー1カレーはどのJAが獲得したのか!?



HBCの無料動画配信サービス「もんすけTV」では、5月末まで見逃し配信も実施しますので、ぜひご覧ください!

HBCにて4月23日(土)・30日(土)の17時に2週連続で放送致しました!



JA北海道信連



◆教材本贈呈事業を展開

JAバンクでは、次世代を担う子供たちへの食農教育を支援するため、農業とわたしたちの暮らしをテーマとした教材本とDVDを作成し、道内各地のJAを通じて全道の小学校・特別支援学校に毎年贈呈しています。



令和4年度においても、北海道教育委員会等のご理解、ご協力のもと、全道1,005校の小学5年生(約4万人)と、20校の特別支援学校へ、教材本等の贈呈を行いました。

JA共済連北海道



◆資料請求キャンペーンを実施

JA共済ホームページの『ひと・まとめプラン』ページから掛金シミュレーションを行い、資料をご請求いただいた方の中から、抽選で240名様に素敵な賞品をプレゼントします。

キャンペーン第1期は9月30日(金)まで。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



ホクレン



◆第2回 北海道米そり選手権に協賛

2月11日、滝野スノーワールド(国営滝野すずらん丘陵公園)にて、冬の北海道を楽しむイベントとして開催された「米そり(米袋そり)」を使ったレースに協賛しました。

キッズ・ジュニアクラスと、一般クラスの2クラスに分かれ、約200名が120m近くあるコースでタイムを競い合いました。

優勝者には米1俵(60Kg)がプレゼントされた他、飛び賞、ベストドレッサー賞、パフォーマンズ賞などもあり、会場は大いに賑わいました。



JA北海道厚生連



◆人間ドック受診のご案内

みなさんは1年に1回、健康診断を受けていますか?

道内12か所の厚生病院・クリニックで受診できます。

医療併設型という特性を活かして、がん検診を含めた総合的な疾病予防対策も積極的に展開しています。

検査の項目が充実しており、ご希望で追加できるオプション検診もたくさんありますので、詳しくは厚生連、または各病院のホームページをご覧ください。



関係機関職員紹介

●北海道オホーツク総合振興局 網走農業改良普及センター清里支所 (清里町兼小清水町担当) 紹介●

普及センターでは、畑作三作物を始め、畜産や露地野菜の安定生産を目指し、町やJAなどの関係機関と連携しながら活動を推進しています。さらに、多様な担い手の確保や省力的な生産技術の構築に向けた支援を行なって参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

★職員紹介

①氏名 ②清里支所所在籍年数
③担当部門

(前列右より)

①若杉 行盛 主査(防疫)
②3年目 ③畑作

①高橋 雅人 支所長
②1年目 ③畑作・園芸

①三上 由美枝 地域第一係長
②4年目 ③園芸・畑作

①米田 正彦 専門主任
②2年目 ③畜産

(後列右より)

①横市 拓摩 専門普及職員
②1年目 ③園芸・畑作

①萬歳 清幸 普及職員
②3年目 ③畑作

①松田 隆希 専門普及職員
②3年目 ③畑作

①元木 咲 普及指導員
②5年目 ③畑作

①藤原 萌衣 普及職員
②2年目 ③畑作



●ホクレン原料所職員紹介

ホクレン原料所では、播種・育苗時期からほ場での肥培管理等の栽培技術指導を中心に、高収量・高品質のてん菜を栽培する生産者皆様方に指導をさせて頂いております。また、新たな品種・農薬・肥料・技術の試験を実施し、新たな栽培方法の普及を図っております。栽培方法・除草剤・農薬・病害虫の防除等分からない点がございましたら、遠慮なく原料所までご連絡ください。お待ちしております。

★職員紹介

①氏名

②在籍年数

(右より)

①本田 航司 所長代理
②3年目

①馬場 仁美

②2年目

